

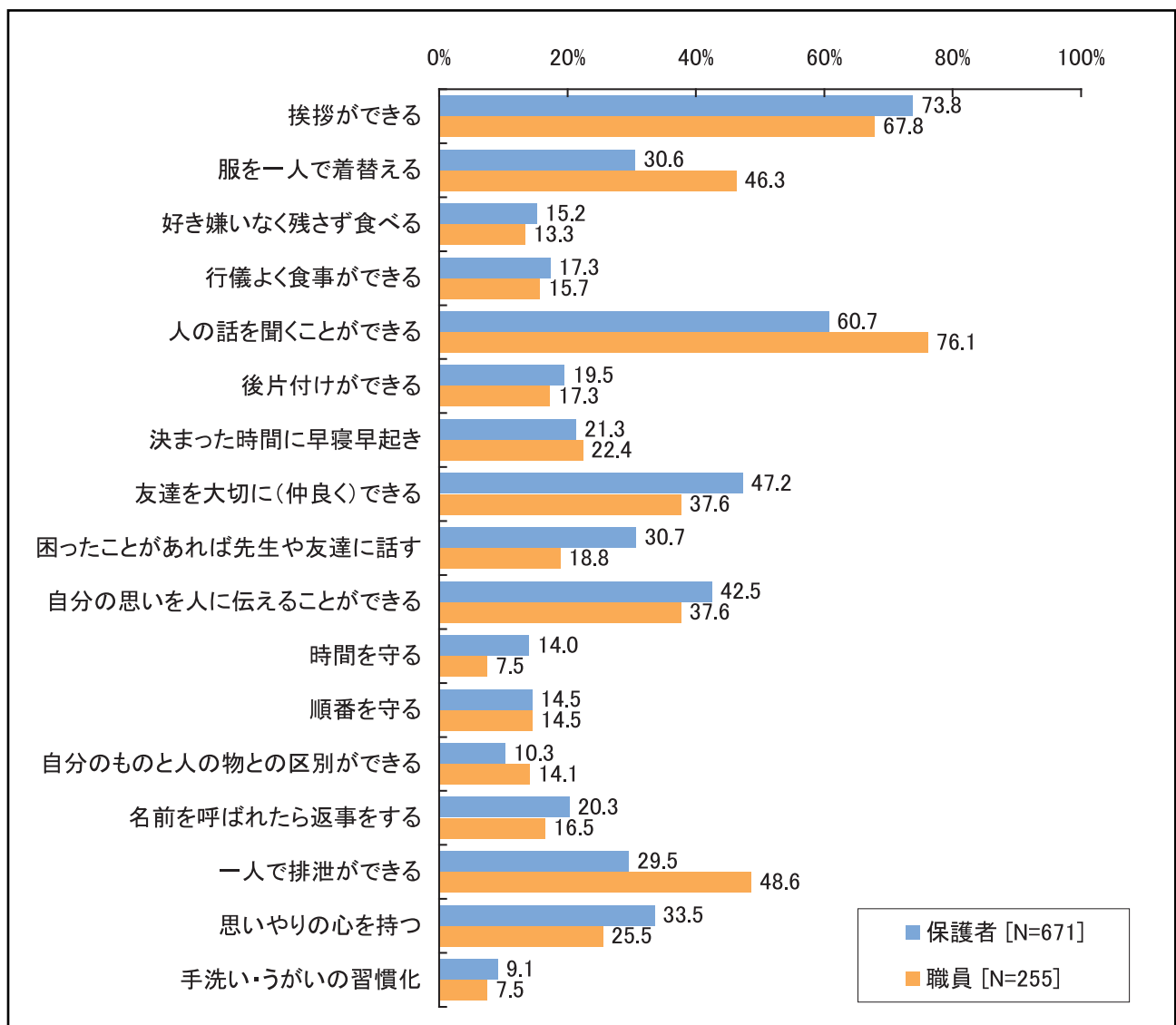
6. 就学前教育充実のためのアンケート集計結果の概要

アンケート集計結果の概要を以下に示します。アンケートの配布数は2,059件、有効回答数は983件（回収率は47.7%）です。うち、属性不明分を除いて、保育所、幼稚園、小学校保護者（以下、「保護者」と表記）からの回答が671件、保育所保育士、幼稚園教諭、小学校教諭および学級補助員（以下、「職員」と表記）からの回答が255件となっています。

1) 身につけたい生活習慣

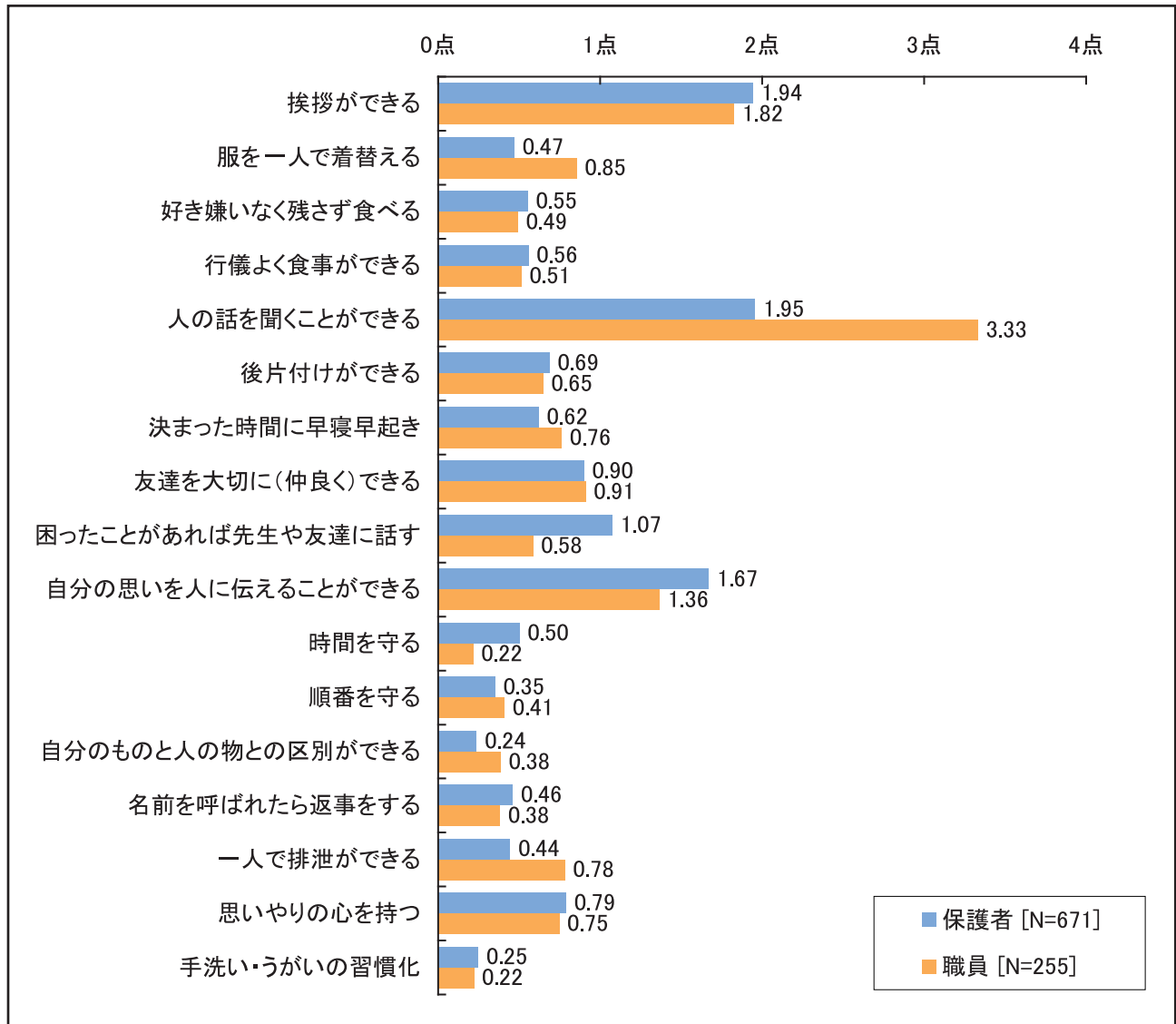
小学校入学前までに身につけておきたい生活習慣について聞いたところ、保護者、職員とも「挨拶ができる」「人の話を聞くことができる」などを重視しており、特に職員で「人の話を聞くことができる」の割合が高くなっています。また、職員では「一人で排泄ができる」「服を一人で着替える」など、生活の基本動作を重視している傾向も見られます。

小学校入学前までに身につけておきたい生活習慣



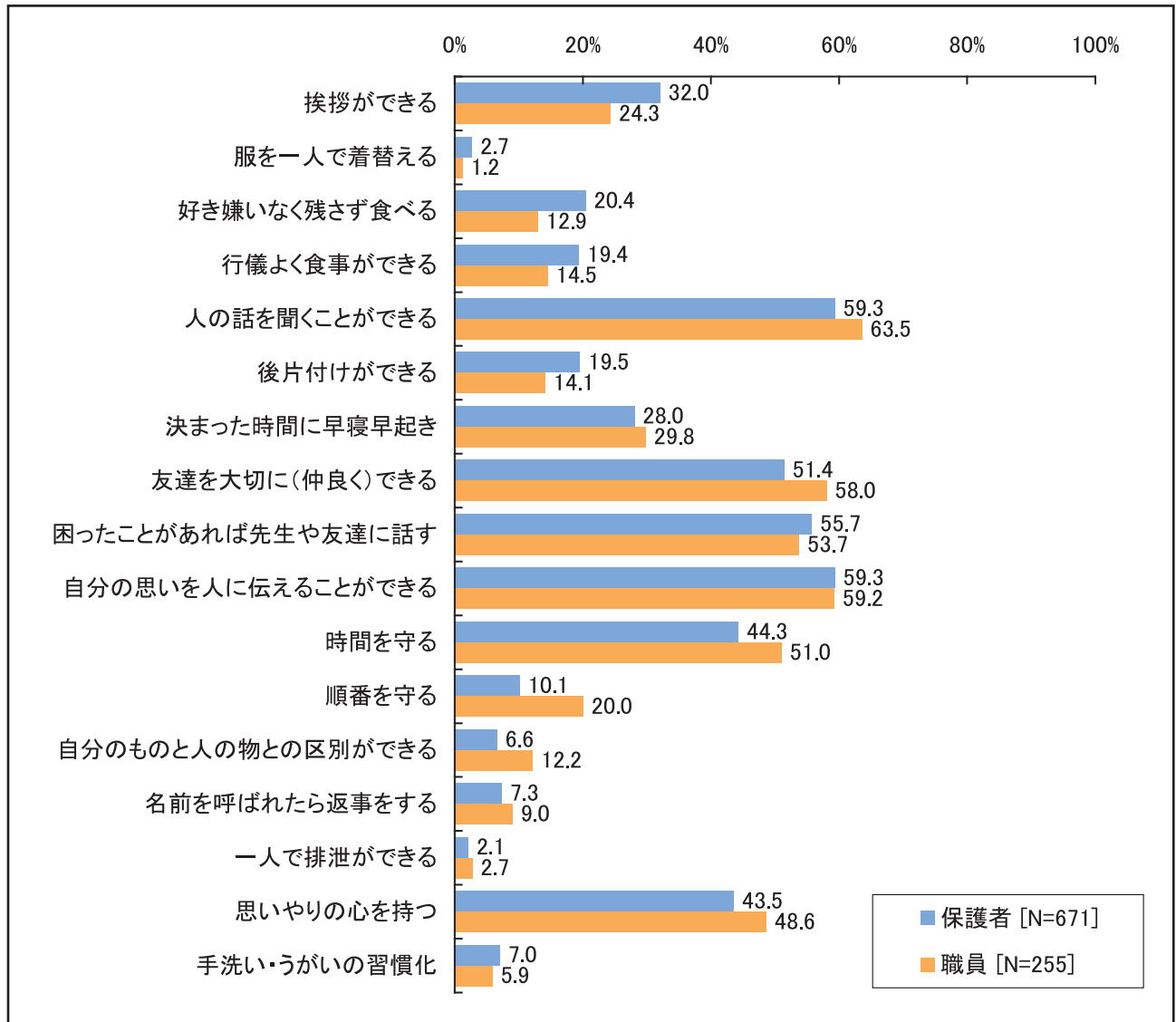
小学校入学前までに身につけておきたい生活習慣について、実際には身につけ方が不足していると思われる項目を順位つきで聞きました。1番不足しているものを5点、2番目を4点、3番目を3点、4番目を2点、5番目を1点として重みづけし、点数化して比較したところ、特に職員で「人の話を聞くことができる」が不足していると考えている度合いの大きいことがわかります。

小学校入学前までの身につけ方が不足している生活習慣



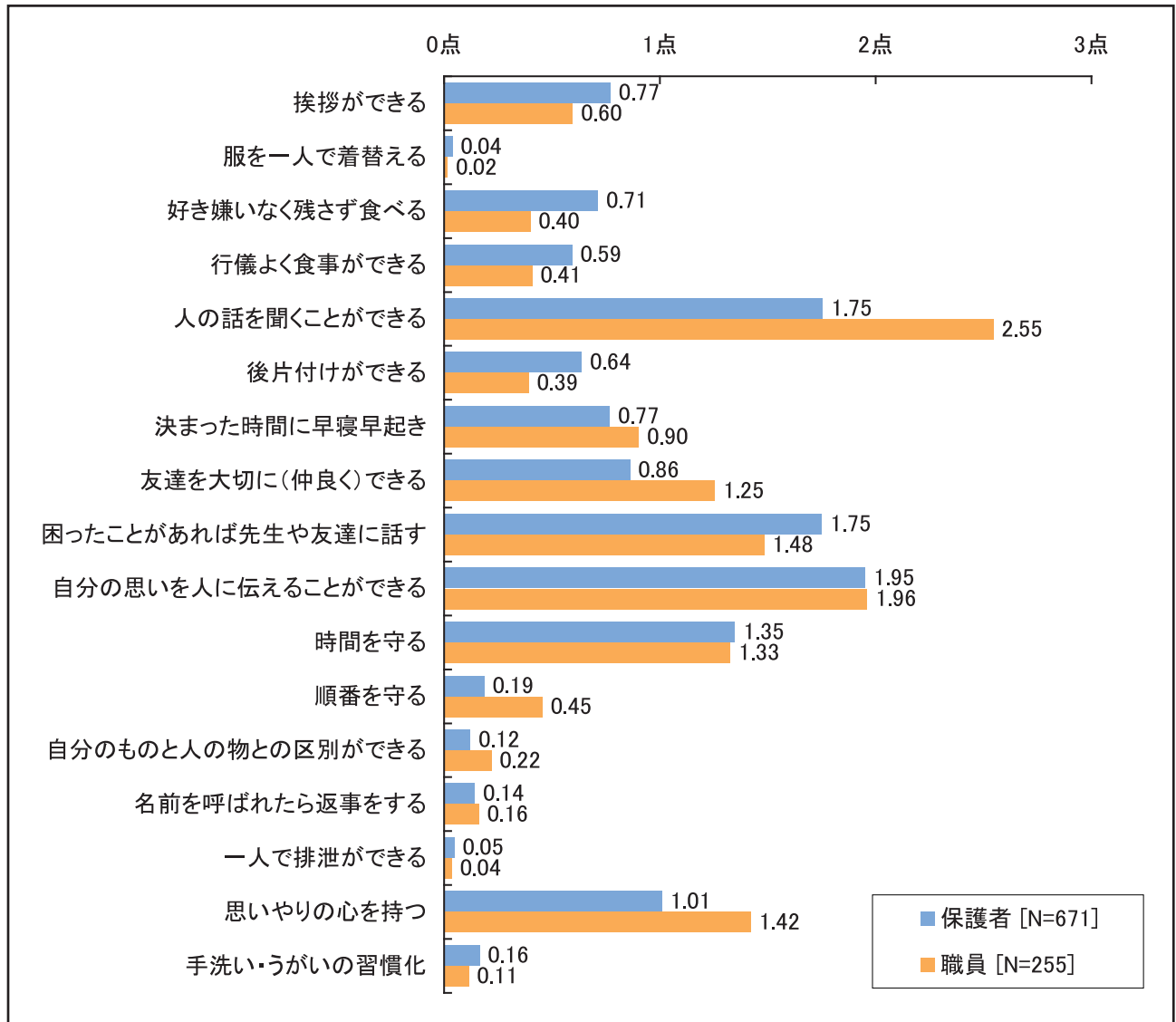
小学校入学後に身につけてほしい生活習慣について聞いたところ、保護者、職員とも「人の話を聞くことができる」「自分の思いを人に伝えることができる」などコミュニケーションを重視する回答になっています。一方、「挨拶ができる」をあげる割合は入学前に比べて低下します。

小学校入学後に身につけておきたい生活習慣



小学校入学後に身につけてほしい生活習慣について、実際には身につけ方が不足していると思われる項目を順位つきで聞きました。1番不足しているものを5点、2番目を4点、3番目を3点、4番目を2点、5番目を1点として重みづけし、点数化して比較したところ、特に職員で「人の話を聞くことができる」が不足していると考えている度合いの大きいことがわかります。「人の話を聞くことができる」は入学前後いずれも身につけ方が不足していると考えられています。

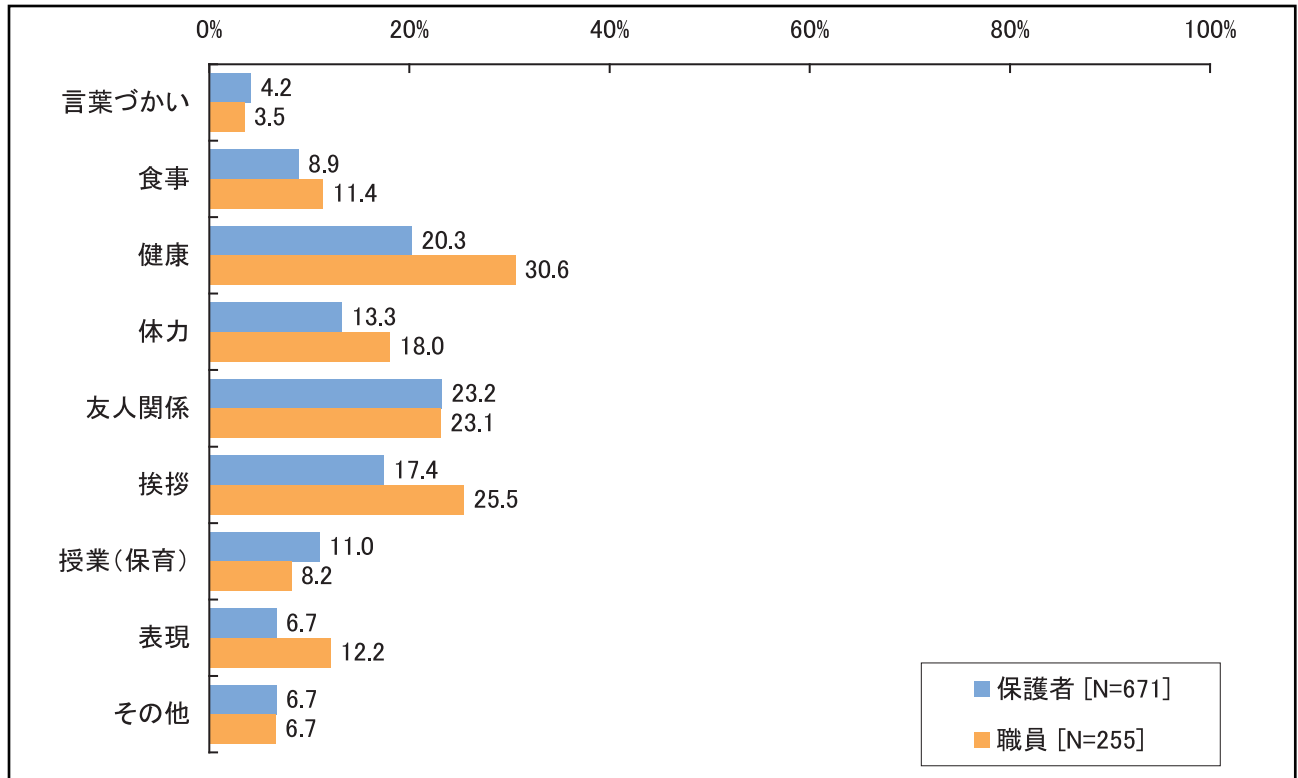
小学校入学後に身につけ方が不足している生活習慣



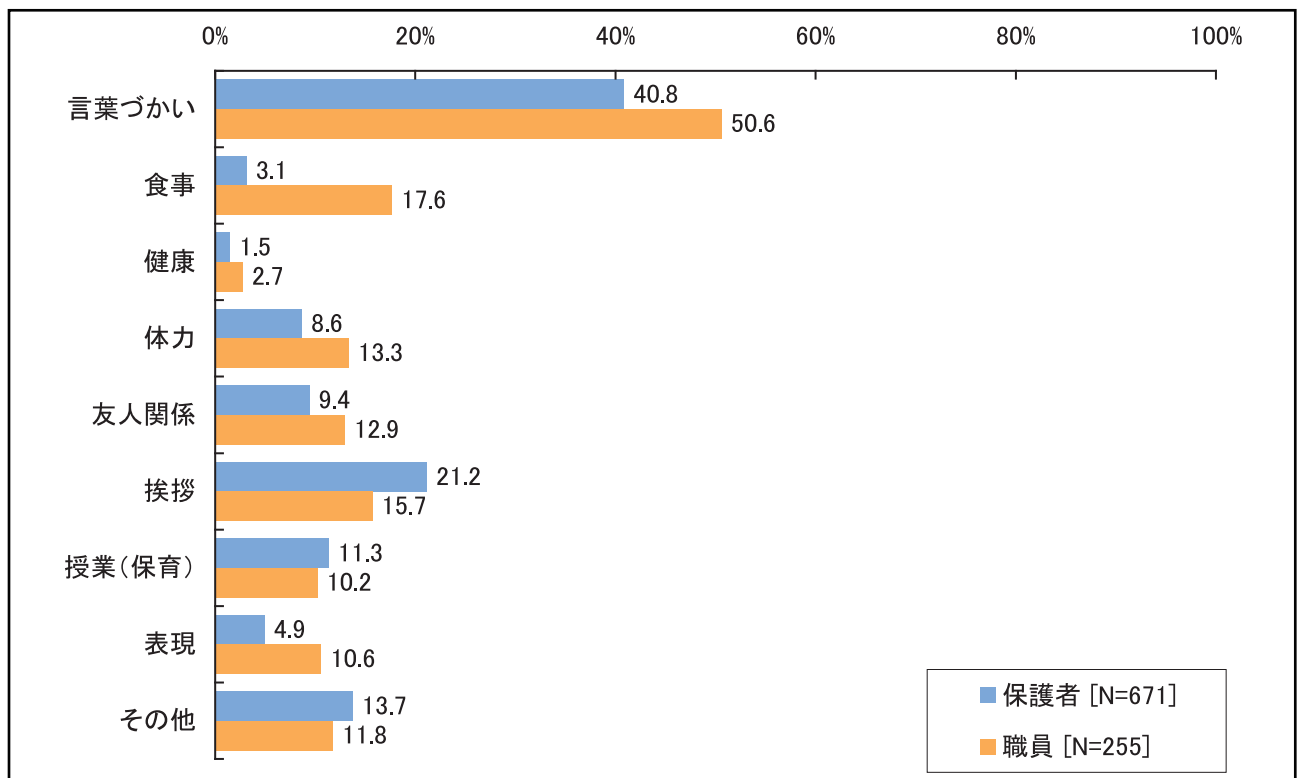
2) 摂津の子どもたちの特色と感ずること

摂津の子どもたちの良いところについては、「健康」「友人関係」「挨拶」などが比較的高い割合となっています。一方、正さな
いといけないところについては、「言葉づかい」を多くの人があげています。

摂津の子どもたちの良いところ



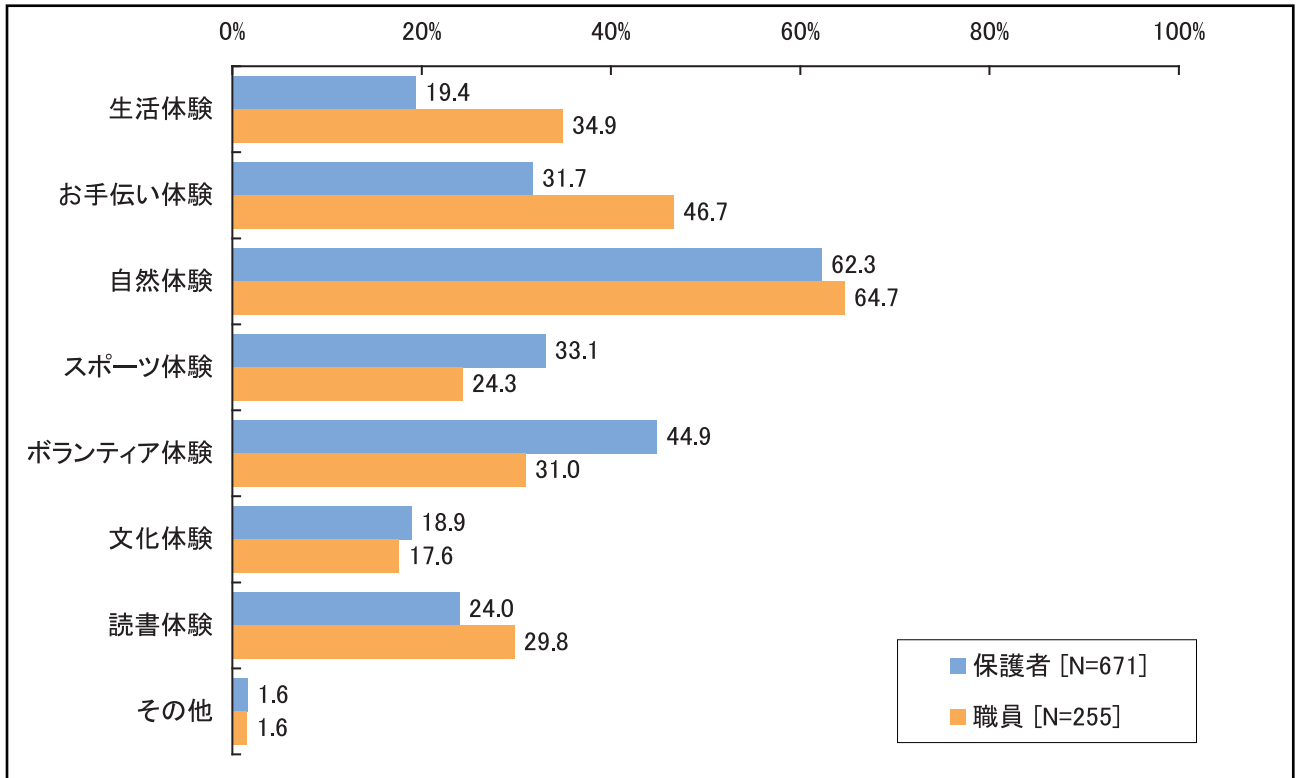
摂津の子どもたちの正さな
いといけないところ



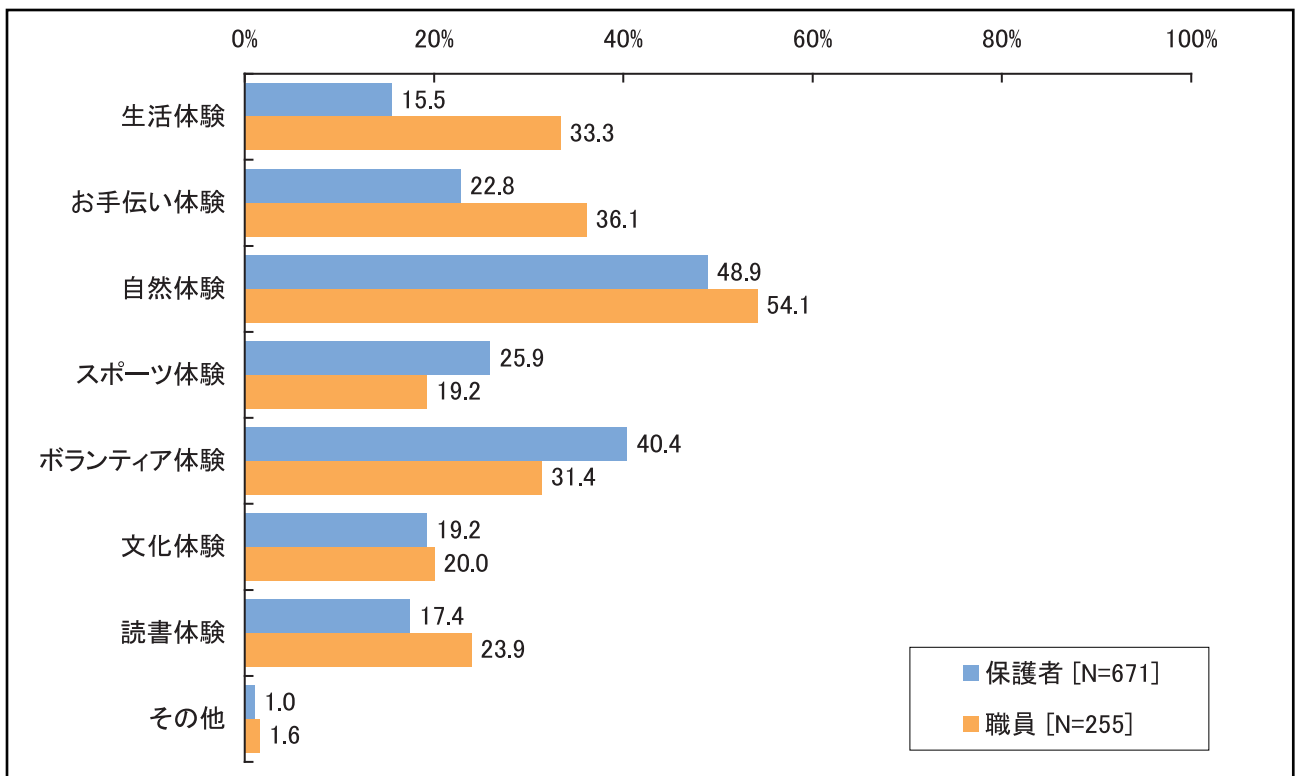
3) 子どもたちに必要な体験

子どもたちに必要と感じる体験を聞いたところ、「自然体験」が高い割合です。また、保護者では「ボランティア体験」、職員では「お手伝い体験」なども重視されています。一方、不足していると感じる体験は、必要と感じる体験とほぼ重なり、必要だが不足していると感じられていることがわかります。

子どもたちに必要と感じる体験



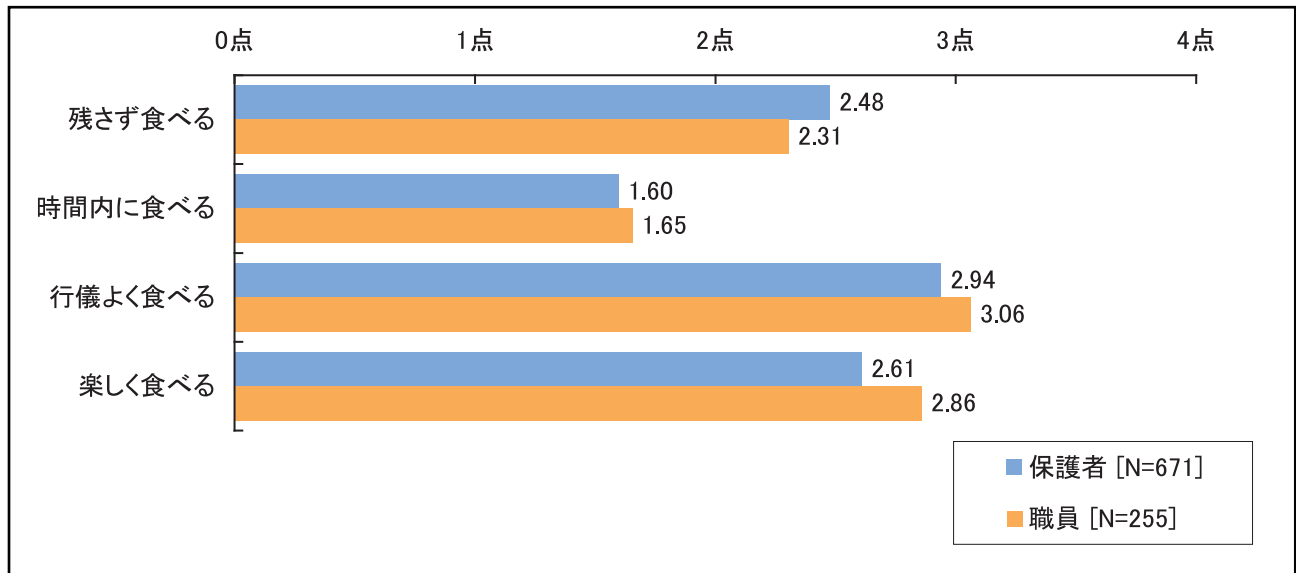
子どもたちに不足していると感じる体験



4) 食事に関する指導（しつけ）

食事に関する指導（しつけ）で重要なことについて、順位つきで聞きました。1番重要なことを4点、2番目を3点、3番目を2点、4番目を1点として重みづけし、点数化して比較したところ、「行儀よく食べる」が最も高く、次いで「楽しく食べる」となっています。

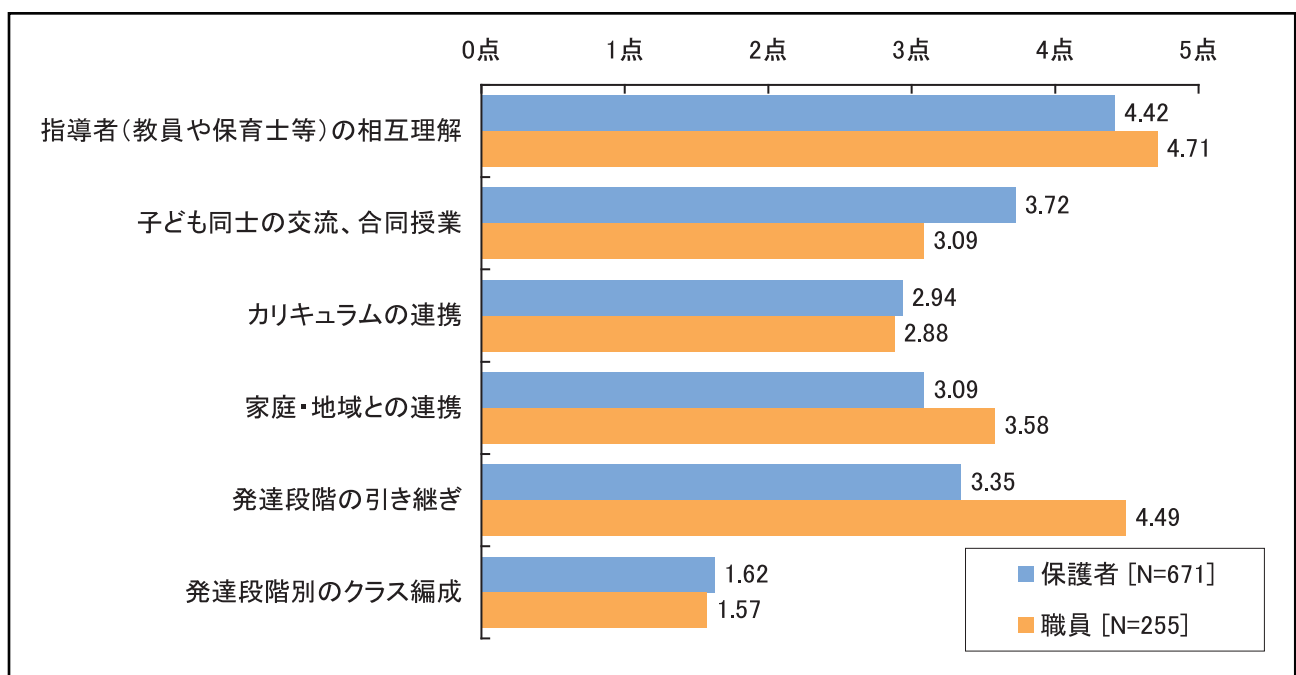
食事に関する指導（しつけ）で重要なこと



5) 保育所・幼稚園から小学校への接続に必要なこと

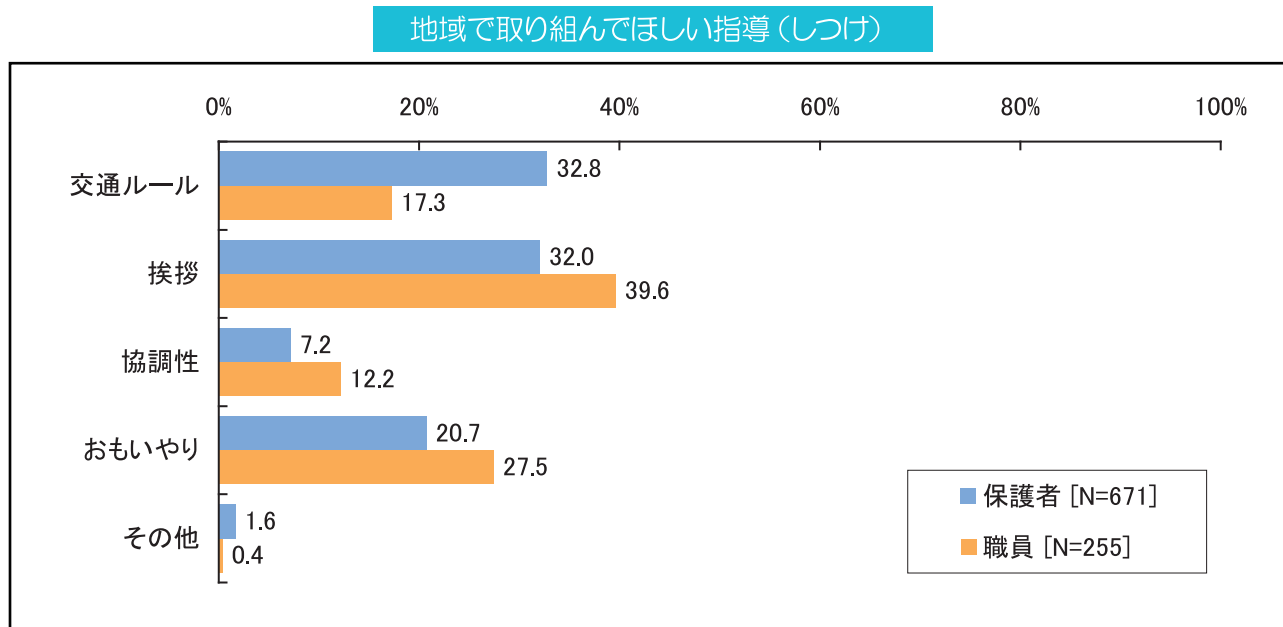
保育所・幼稚園から小学校への滑らかな接続に必要なことについて、順位つきで聞きました。1番必要なことを6点、2番目を5点、3番目を4点、4番目を3点、5番目を2点、6番目を1点として重みづけし、点数化して比較したところ、「指導者（教員や保育士等）の相互理解」が最も高くなっています。また、職員では、「発達段階の引き継ぎ」も高い点数です。

保育所・幼稚園から小学校への接続に必要なこと



6) 地域で取り組んでほしい指導（しつけ）

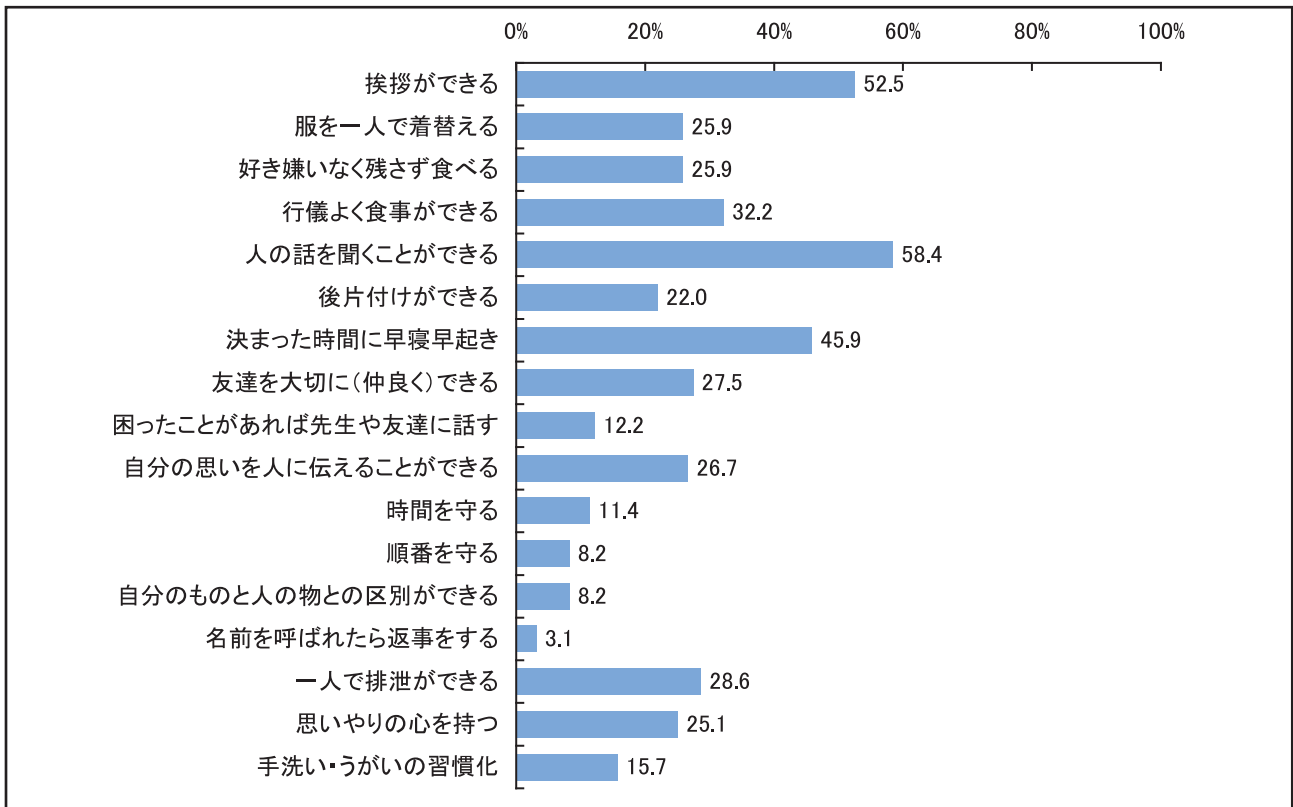
地域で取り組んでほしい指導（しつけ）については、保護者では「交通ルール」、職員では「挨拶」が重視されています。保護者では地域生活での安全が重視されている様子が見えます。



7) 家庭における指導（しつけ）について

職員に対し、家庭でも積極的に取り組んでほしい指導（しつけ）について聞いたところ、「人の話を聞くことができる」「挨拶ができる」「決まった時間に早寝早起き」などが高い割合となっています。

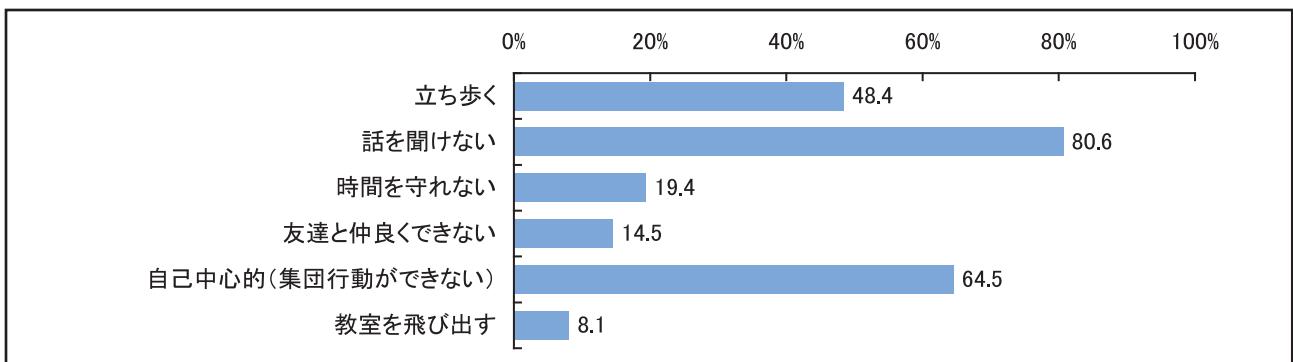
家庭でも積極的に取り組んでほしい指導（しつけ）



8) 小1プロブレムとして目立つこと

小学校教諭および学級補助員に対し、小1プロブレムとして目立つことを聞いたところ、「話を聞けない」「自己中心的（集団行動ができない）」「立ち歩く」が高い割合となっています。

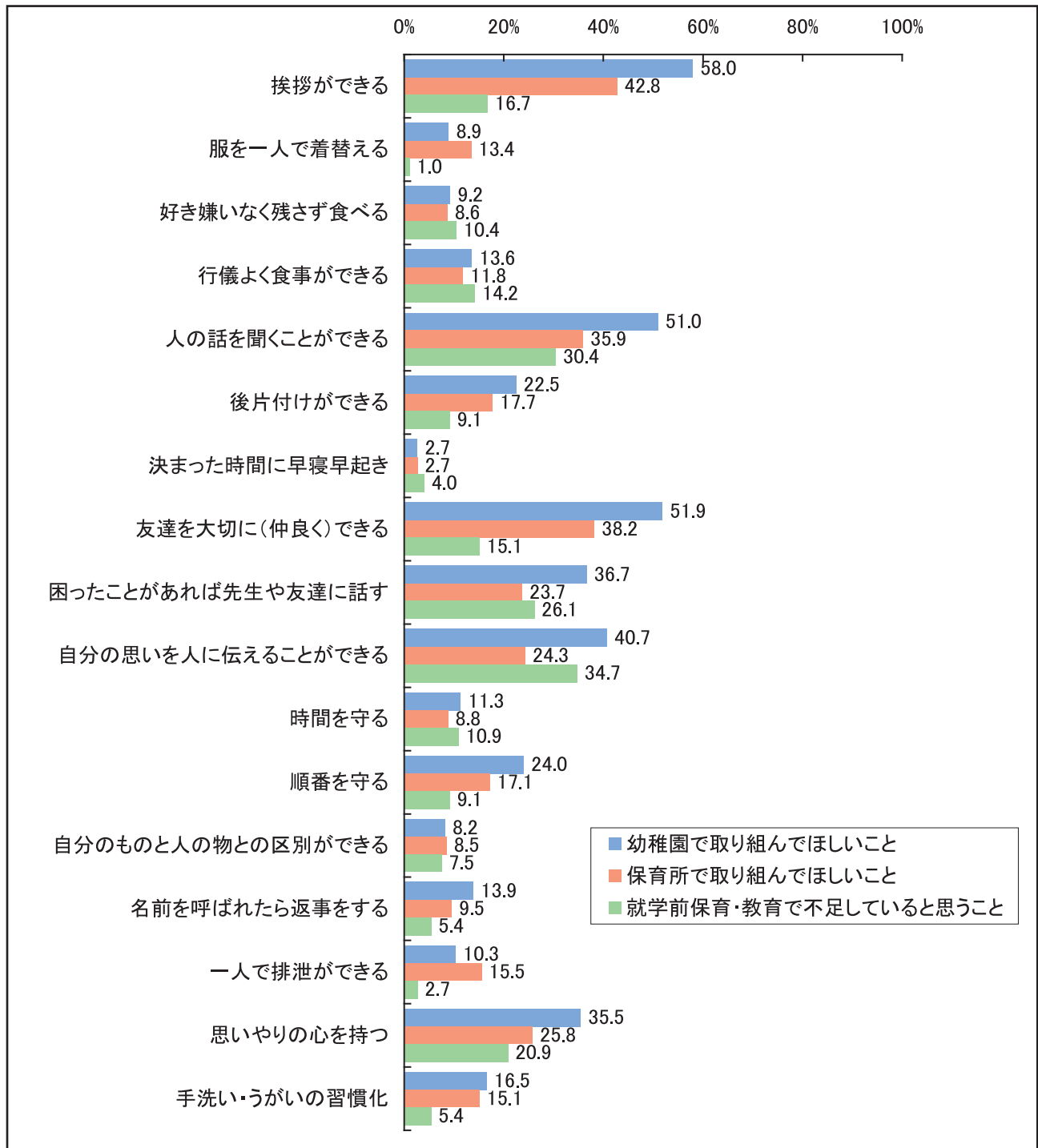
小1プロブレムとして目立つこと



9) 保育所・幼稚園での指導（しつけ）について

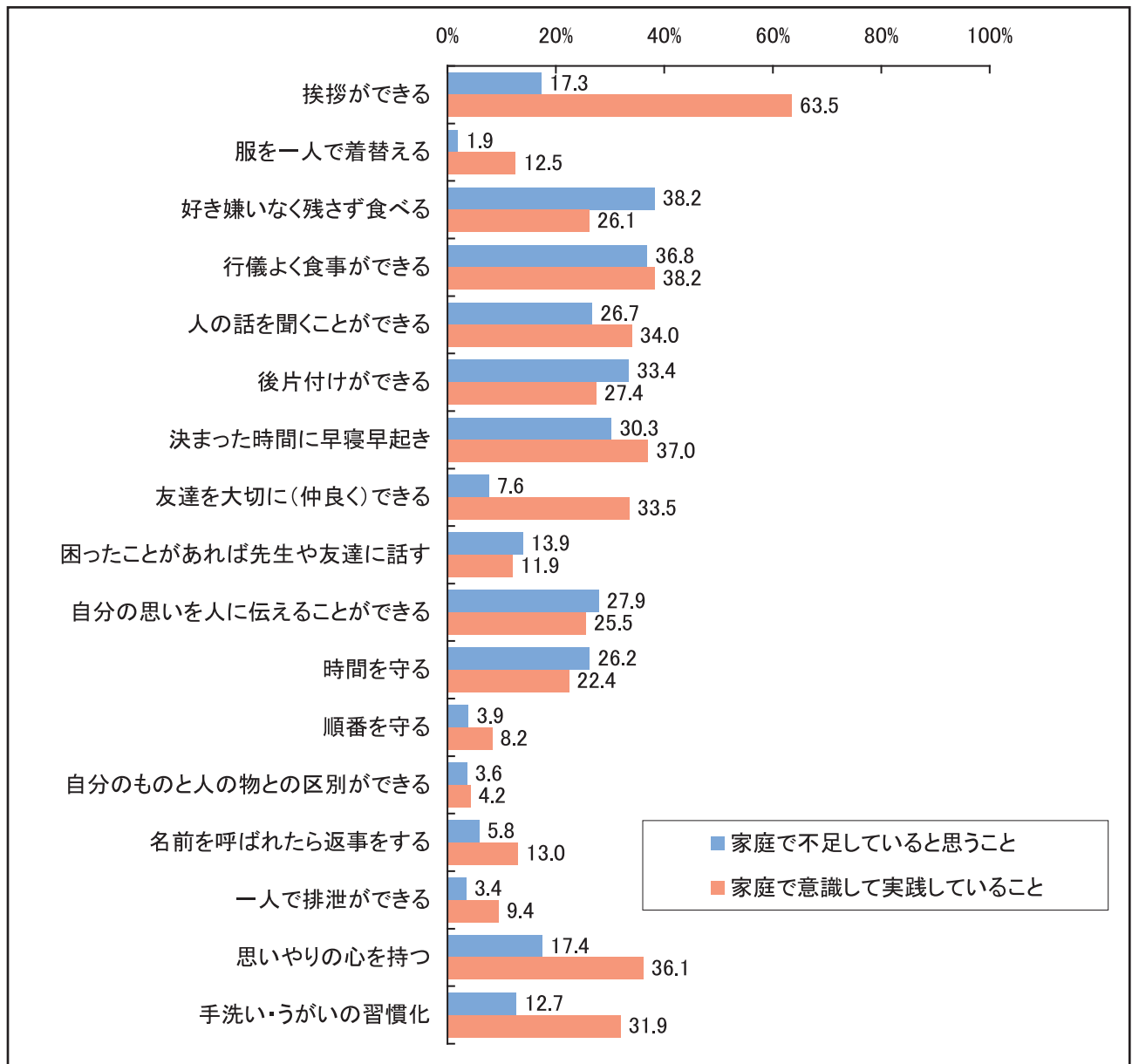
保護者に対し、保育所、幼稚園で積極的に取り組んでほしい指導（しつけ）について聞いたところ、保育所、幼稚園ともに、「挨拶ができる」「友達を大切に（仲良く）できる」「人の話を聞くことができる」などが高い割合となっています。一方、就学前保育・教育で不足していると思う指導（しつけ）を聞いたところ、「自分の思いを人に伝えることができる」「人の話を聞くことができる」などを多くの保護者があげています。コミュニケーションに関する指導（しつけ）を期待されている半面、不足感もある様子がうかがえます。

保育所・幼稚園で積極的に取り組んでほしい・不足していると思う指導（しつけ）



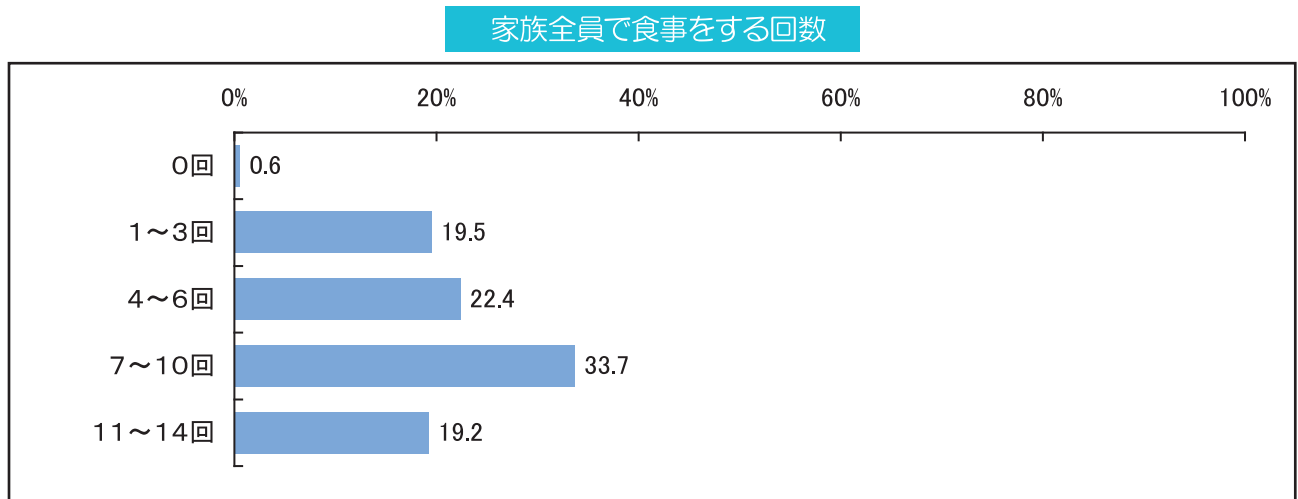
保護者に、家庭で不足していると思う指導（しつけ）について聞いたところ、「好き嫌いなく残さず食べる」「行儀よく食事ができる」「後片付けができる」などの生活習慣を身に付けさせるところで不足感が高くなっています。一方、家庭で意識して実践している指導（しつけ）としては、「挨拶ができる」の割合が高く、多くの家庭で実践されていることがわかります。また、「行儀よく食事ができる」や「決まった時間に早寝早起き」なども比較的高く、意識して実践されている様子が見えます。

家庭で不足していると思う指導（しつけ）、意識して実践している指導（しつけ）



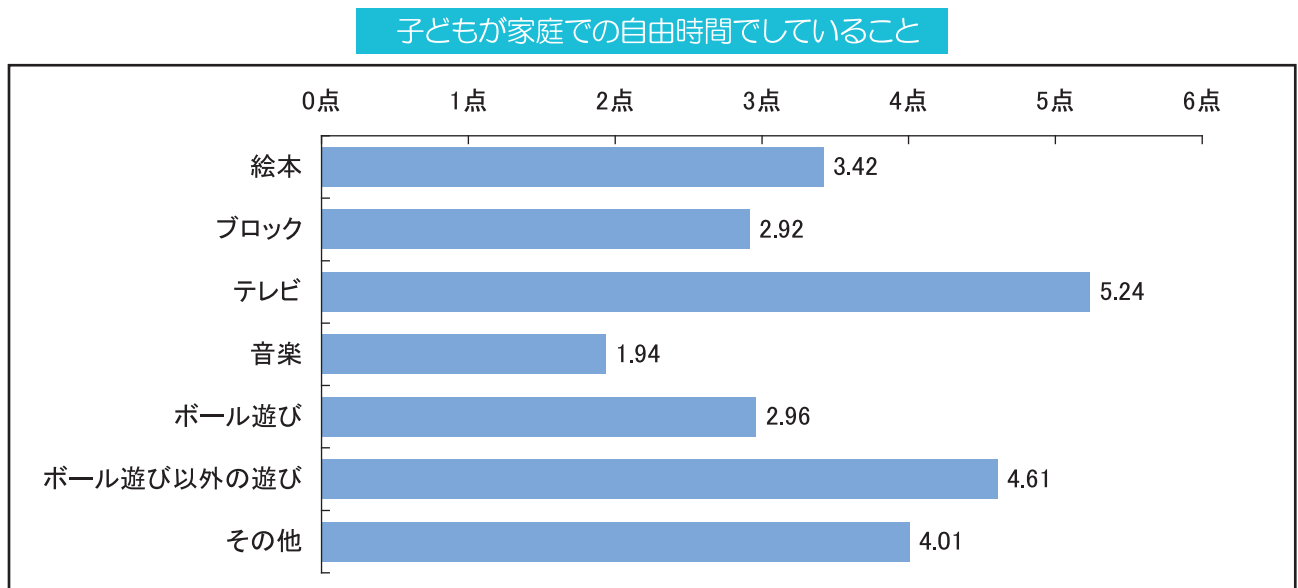
10) 家族全員での食事

保護者に、家族全員で食事をする回数について聞いたところ、一週間の朝夕14回の食事のうち、「7～10回」という家庭が多くなっています。一方、3回以下という家庭も2割程度見られます。



11) 子どもが自由時間にしていること

保護者に、子どもが家庭での自由時間に何をしているか順位づけで聞きました。1番多いものを7点、2番目を6点、3番目を5点、4番目を4点、5番目を3点、6番目を2点、7番目を1点として重みづけし、点数化して比較したところ、「テレビ」が最も高くなっており、次いで「ボール遊び以外の遊び」「絵本」と続いています。



MEMO

MEMO

MEMO

就学前教育実践の手引き

編集・発行 摂津市教育委員会こども教育課
〒566-8555摂津市三島1-1-1
T E L : 06-6383-1111 (3414)
F A X : 06-6319-1930

平成 24 年 3 月